

はたちの夢

成人代表

坂本

大星さん



本日は、私達のために盛大な式典を催していただきありがとうございます。

二十歳を迎えるにあたり、これまで支えてくれた家族、友達や先生方、関わって頂いた全ての方々に深く感謝いたします。

私達の学年は、今までの20年間でたくさんの災害を乗り越えてきました。

2011年には東日本大震災を経験。幼稚園児だった私達は、広野町を離れ、皆それぞれの避難先で生活をしていました。町の復興が進み、徐々に生活の拠点を町内に移し、学校も広野町へ戻り、本来の場所での生活が落ち着き始めた矢先、2020年に新型コロナウイルスの蔓延で環境が一変しました。

学校へは行けず、部活動も出来ない日々が続く、学校再開後も楽しみにしていた修学旅行も規模を縮小し、日帰りの県内旅行になりました。仲間との切磋琢磨した部活動においても最後の中体連大会でしたが中止を余儀な

くされました。

高校入学後、徐々に新型コロナウイルスが収束に向かい、緊急事態宣言が終了した時には、高校3年生になっていました。色々と制限がある学校生活の中で、資格取得や部活動に打ち込み、土木関係の国家試験には何度も挑戦し、資格を取得することが出来ました。部活動では剣道部に所属しておりましたが、同学年の仲間が選手に選ばれ悔しい時期がありました。私も選手になるため部活動後に町内のスポーツでも稽古をするなど、日々努力を重ねてきました。苦しい練習を乗り越え選手になることができ、幼少期の頃からの夢であった全国大会にも出場することが出来ました。何事も諦めずに努力することで、どんな困難も乗り越えられる力が備わりました。また、多くの人との出会いで沢山の仲間を作れたことが私の財産となっています。

私は現在、大学で建設関係について学んでいます。建設の基本的な作業方法を実習等により学んでいます。また、これからは多くの資格取得にも挑戦し、自身の能力向上にも繋げ、様々な技術・経験を積み、社会に踏み出したと考えています。

私達は今後も多くの困難に直面することがあると思いますが、これまで培ってきた経験と多くの方々の絆を大切に、一步一步前に進んで行けると信じています。

最後になりますが、大事な仲間との絆を大切に、更なる成長を誓い、成人代表の挨拶とさせていただきます。

成人代表

坂本

朱羽さん



本日は、私達のためにこのような晴れやかな式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いならびに激励のお言葉を賜りました町長様をはじめ、ご来賓の皆様が新成人を代表し、心より感謝申し上げます。

本来であればこの場に直接伺い、ご挨拶を申し上げるところですが、やむを得ない事情により会場に伺うことができず、動画での参加となりましたが、このような形でも挨拶の機会をいただき、また皆様からの温かい激励のお言葉に、深く感謝しております。

私たちは今日、二十歳という人生の大きな節目を迎え、大学や専門学校で学ぶ者社会に出て働く者など、進む道は様々です。それぞれが悩み、迷いながらも自分の選んだ場所まで精一杯前を向いて歩んでいます。

私の二十歳の夢は、「この地域の一人として責任を持ち、次の世代につながるまちづくりに関わり続けること」です。

私は現在、広島県北広島町で仕事を通し、地域活性化について取り組んでいます。高齢社会が進む中で、日々の関わりを通じて感じるのは、人と人との繋がり大切さです。

高齢者の方々のこれまでの経験や知恵、そして地域への深い愛情は、次の世代へと受け継いでいくべき大切なものだと感じています。世代は違っても、互いに関わり合い、学び合うことで地域には温かい居場所が生まれるのだと実感しています。微力ではありますが、私自身が出来ることを一つ一つ積み重ねていきたいと考えています。

二十歳を迎えた今、支えていただく立場から、少しずつでも地域を支える立場へと成長していくことが、私に出来る恩返しであり、これからの目標です。

仕事とソフテニスの両立は苦難なものです。両親や兄妹、みんなのおかげで生活出来ています。ありがとうございます。現役生活最後まで応援お願いします。

最後になりましたが、本日の式典にご尽力いただきました関係者の皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。新成人代表の挨拶といたします。

祝 広野町はたちを祝う会

